箱根組ニュース

第３１８号　２０１９年６月号
編集発行人　戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

新緑の六ツ石山の急登を登る。ヤマツツジのオレンジ色、ミツバツツジの薄紫が緑に映える。

５月１９日（日）、新宿駅発６時４６分のホリデー快速おくたま1号に乗車。美しい緑の中を走る電車は奥多摩駅に８時２１分着。降り立ったのは、宗像、有倉、川名夫人、及川、神山、奥村、神吉、戸丸の８名。

沢山の登山客がホームを急ぎ、改札口からバス停に向かう。予定のバスに乗れるか心配したがバス停に着くと８時３５分発の丹波行きがあるはずだが、鴨沢西行きのバスが待っていた。

以前雲取山に行くときにバスに乗れずに臨時は出ませんかと言ったら大勢の客がいるにもかかわらず、１時間ほど後の次のバスまでありませんとそっけない対応だったが、ありがたいことに西東京バスも大分対応を変えてきた。

というわけで予定より１０分ほど早く８時２５分頃出発のバスに滑り込むことができた。水根で降りる予定を変更して一つ先の奥多摩湖で下車。

ダム近くのトイレを利用し身支度をしてストレッチをする。

９時出発。先頭は及川さん。まずは一つ手前の水根バス停まで下ってゆく。

９時５分、水根バス停を通過、青梅街道を渡り左に少し行くと右側に六ツ石、鷹ノ巣山登山口の看板が現れる。水根沢キャンプ場の看板もある。沢沿いに右に曲がってゆく。

９時１３分、左下に沢に架かる小さな橋が見える。看板があり水根沢口と書いてある。橋の先には八方岩展望台８００ｍとある。

９時１６分、右、六ツ石山の看板。ここを右に行く。真っすぐ行けば鷹ノ巣山方面だ。

９時２７分、左に水根観音経由奥多摩湖・鷹ノ巣山方向の道が現れる。そのままま真っすぐ進む。眼下には奥多摩湖、その左側には奥多摩三山の一つの御前山がどっしりと落ち着いている。高台の奥多摩むかし道のこのあたりには民家が数軒ある。

９時３０分、歩いている奥多摩むかし道を外れて左の坂道に入ってゆく。いよいよ六ツ石山への斜面が始まる。傾斜地に立つ民家の右横を登ってゆく。

９時３４分、右側に東京都水道局水根配水場がある。杉林の急斜面をじわじわと登ってゆく。

９時４７分、赤い鳥居が見える。水根産土（うぶすな）神社。江戸時代からの地元で信仰する神社の様だ。お詣りをして通過する。植林地の傾斜が続く。

１０時３０分、山の左半分が新緑の広葉樹の林になる。右の針葉樹との対比で緑が一層引き立って美しい。その中でヤマツツジのオレンジ色が映える。

１０時３８分、急傾斜が一段落した広場になる、ここが９８９ｍ地点、休憩。また急な道が始まる。

１１時２５分、道は尾根を外れて右側に進んで斜面に着いたルートになる。一登りして広い防火帯のエリアに出る。

１１時４０分、トオノクボ到着。小休止。赤紫の花のようなものが沢山ぶら下がって目立つ木がある。葉っぱはカエデ状で調べてみたらハウチワカエデの様だ。道はほぼ直角に左に曲がってゆく。

１１時５０分、再出発。尾根を真っすぐ直登でアキレス腱が伸びる。広い尾根にはマルバダケブキが目立つ、なぜかシカが食べないようだ。時々鹿の鳴き声が聞こえてはいたが。出始めたばかりの蕨も目立つ。傾斜は少し緩やかになり落葉松の新緑がきれいだ。

ミツバツツジが可憐な薄紫色で咲いている。

１２時３０分、六ツ石山山頂に到着。休憩含めて上り３時間半は立派な成績だ。

早速昼食。少しのビールと持ち寄りの惣菜は豪華。お湯も沸かして即席みそ汁も、仕上げはコーヒー。

１時半、記念撮影。

１時３５分、下山開始。石尾根に向かって下ってゆく。

１時４０分、石尾根のT字路にぶつかる。左は雲取山からのルートで七ツ石山から鷹ノ巣山を経由してこの地点になる。我々は右の奥多摩駅方面へ向かう。広い防火帯

現在の収支	
繰越	45259 円
入金	0円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	43859 円

切手残数
８２円切手　１７０枚
４０円切手　１３１枚

６月１６日（日）、横浜緑区の新治市民の森です。
らくだコース　歩行約３時間

小田急線で町田まで、町田で横浜線に乗り換え十日市場下車。この森は横浜市内屈指の緑地帯でクヌギ・コナラ・スギ・ヒノキなどが群生し、沢山の野鳥や、蝶、トンボなどにも出会えます。

※何か汁物を作ります。

○持ち物　**お弁当、飲料水、食器、箸、非常食、雨具、**傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ（予備電池）、地図、筆記用具、救急薬品、（痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ちり紙（ロールペーパー）、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他。

●申し込みは６月１４日（金）までに

集合　６月１６日（日）小田急線新宿駅
７：３０発　急行小田原行き
（前から３両目）
途中駅発
代々木上原 7：35　下北沢 7：42
経堂 7：46　成城学園前 7：46
登戸 7：50　向ケ丘遊園 7：54

町田８：０７着（JR 横浜線乗換）
８：１８発　十日市場８：２６着

交通費　片道新宿～十日市場 540 円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066
携帯メール：satorutomaru@gmail.com
メール：tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

の尾根を下ってゆく。差し込む日差しが新緑を一層美しく輝かせる。奥多摩三山の御前山が正面やや右側にどっしりと構えている。

２時１３分、右に三ノ木戸林道から奥多摩駅方面の分岐点。我々はこれを見過ごして真っすぐ進む。

２時２７分、尾根を左に巻くようにルートはついている。右の尾根を進めば三ノ木戸山だが左にそれて行く。尾根は右が植林地、左が自然林、緑が美しい。

３時２８分、右から三ノ木戸方面の道と合わさる三叉路だ。奥多摩は左方向。小休止。

３時３８分、左側上に小さな稲荷神社。少し先左側に石仏が二体。すぐに舗装の林道に出る。舗装路は三叉路になっていて右からは三ノ木戸方面からの道、左後方は地図によると不老線とあり家入沢方向のようだ。左方向の奥多摩駅へ向かう。

４時２分、林道の左側に山道がありこれに入ってゆく。階段を降りまた山に入ってゆく。地図ではこのあたりが羽黒山で標高は６０８，８ｍ。

４時１２分、目の前に社が見えてくる、神社の裏側だ。羽黒三田神社というらしい。降りたところを左に戻るように進むと広い車道に出る。

４時３１分、正面間近にとんがった山が見えているが御前山や大岳山からのルートの鋸尾根の最後の愛宕神社のある愛宕山だ。左に階段が現れてこれを降りていく。青梅街道に下りて氷川大橋を渡り左に進むと４時４０分、奥多摩駅に到着。

４時５４分発のホリデー快速で東京に向かう。心地よい電車の揺れが眠気を誘う。

希望者で新宿下車。西口の目的の店は改装中でお休み、他の店で打ち上げをして帰宅。

北岳計画・コース予定。

7 月 29 日（月）～8 月 1 日（木）3 泊 4 日

1 日目　広河原～御池小屋（泊）**歩行３時間**

2 日目　御池小屋～北岳～北岳山荘（泊）
歩行５時間１５分

3 日目　北岳山荘～間ノ岳（荷物を置いて軽いサブザックで往復）北岳山荘～北岳～肩ノ小屋（泊）
歩行５時間

4 日目　肩ノ小屋～広河原　**歩行４時間**

※昨年登って感じたのは早朝の景色がとにかく素晴らしいということ、朝６時頃から歩き出すと８時位まではすべての山が見えます。北岳山荘と肩ノ小屋に泊まれば北岳、間ノ岳の尾根の絶景が見られます。北岳に二度登るとそのチャンスが増えます。

●集合 7 月 29 日（月）
新宿発 7：00　あずさ 1 号松本行き
甲府着 8：27　（バス乗り換え）
9：05 発　広河原行き　10：58 広河原着

●費用概算　42,000 円位
山小屋 30,000 円
（一泊 2 食お弁当付き 10000 円×３）
交通費　12,000 円
東京～甲府　往復 8000 円
甲府～広河原　往復 4000 円

７月７日（日）五日市戸倉三山へ！

北岳のトレーニングで五日市からアプローチの戸倉三山（今熊山を含む）へ行きます。
（今熊山 505m、刈寄山 687m、市道山 795.1m、臼杵山 842.1m）　歩行約 8 時間

●持ち物
お弁当、非常食、飲料水（多めに）、雨具、等
●集合
ＪＲ中央線　東京駅（2 番線）6：07 発
中央特快 高尾行き（前から 3 両目）
途中駅発
神田 6：09 お茶の水 6：12 四ツ谷 6：17
新宿 6：22（12 番線）中野 6：26
立川 6:48 着（青梅線乗換）
6:57 発 武蔵五日市行き
武蔵五日市 7:34 着（バス乗り換え）
（2 番のりば）7:45 発　京王八王子行き
今熊山登山口下車（7:51）